

一 般 質 問 通 告 表

令和4年第3回始良市議会定例会（9月2日）

8. 新福 愛子	1. 市営住宅の共益費の徴収について	<p>市営住宅の共用部に関する電気代・水道代等は入居する方が共益費として負担しており、各団地において自治会費と共に徴収されている。しかし、自治会未加入者への対応や入居者の高齢化で徴収に苦慮されているだけでなく、自治会の運営にも支障をきたす要因にもなっている。「共益費を家賃と一緒に市に徴収してほしい」という声が寄せられているが、市としての見解を問う。</p>	市 長
	2. 安全安心の地域を照らす防犯灯の維持管理について	<p>LED化も推進され地域の安全安心を支える防犯灯も、予期せぬ器具の落下や台風等により損害賠償責任が発生した場合、自治会等の運営に困難が生じることも想定される。防犯灯の維持管理に関する現状と、市として賠償責任保険に一括加入を検討する考えはないか。</p>	市 長
	3. 女性デジタル人材の育成について	<p>経済産業省はデジタル人材が2030年に最大79万人不足すると試算している。コロナ禍で厳しい状況におかれた多くの女性の就労に直結するデジタルスキルを身に付けることを目的に、この4月、政府は「女性デジタル人材育成プラン」を策定し官民連携の取組を打ち出している。女性の経済的自立に向けた一歩として、地方自治体での取組も期待されている女性デジタル人材に向けた本市の取組を問う。</p>	市 長

		<p>始良保健所においては、その要請内容のチラシを作成し市民はその内容に従っている。しかし、県保健所の代表窓口ではチラシの存在も知らず、他自治体でも独自チラシを作成している事例はないとの回答であった。</p> <p>厚生労働省へ問い合わせたところ、陽性者より濃厚接触者の待機期間が長いのは聞いたことがないと回答があった。県内でチラシを作成し、活字にて待機期間の対応を求める保健所は調べたところ始良保健所のみであった。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 市は始良保健所とどの程度の連携が出来ており、この件について把握しているのかを問う。</p> <p>(2) 陽性者の子どもを抱えるひとり親世帯については15日間も出勤することができない。市はなんらかの支援を行っているのか。また行う予定があるのか問う。</p>	
10. 笹峯 桜	1. 市道建昌・岡線について	<p>青葉台から県道446号十三谷重富線に抜ける市道建昌・岡線は、始良ニュータウン、重富方面、船津方面に抜けることができるため、迂回路として利用する市民が多い道である。しかし、自動車1台がようやく通れるほどの幅で、離合することができず、歩行者や自転車も通るため危険性が高い。周辺にお住いの市民は旧町時代も含め、30年ほど前から片側一車線への拡張を要望されているようであるが、今後市として取り組む予定はないか問う。</p>	市長

<p>2. 災害対策について</p>	<p>今年7月の豪雨によって本市の特に中山間地域が甚大な被害を受けた。被災された市民に対しても、「法律の壁」によって、根本的な解決につながる支援ができないような事例もあり、心苦しい限りだった。今回の災害の爪痕は依然として残っており、速やかな対応が必要であると同時に今後同じような災害を減らすための対策も必要である。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 7月3日から4日にかけての集中豪雨により、加治木町辺川の宇曾木川が大幅に増水した。道がえぐられ使用不可能になり、隣接する田んぼにまで浸水した。その中には、昨年県が修復工事を行ったが再び破壊され、今年も同じように浸水した箇所もあった。辺川地区に関係する市民は、たびたび川が氾濫する事態に対し、壊れたところを単純に直すだけの原状復旧の修復工事ではなく、根本的な対策を国や県に対し求めている。本市の管轄範囲については本市が早急に対応しているが、辺川地区の川がたびたび氾濫し、その度に県も工事をしている件について本市はどのように考えているか問う。</p> <p>(2) 7月19日から20日にかけての集中豪雨により、加治木町小山田中郷地区の民家の裏山でがけ崩れが起きた。このあたりの民家は一軒ずつ離れて立地しており、がけ崩れが起きた民家も一軒が独立する形で立地していたため、単独では県の治山事業も、急傾斜地崩壊対策工事も適用されなかった。こういった事例はこれまでも</p>	<p>市長</p>
--------------------	---	-----------

	<p>3. 本市の観光について</p>	<p>多々あったようであるが、本市の中山間地域では一軒ずつ独立して立地している民家が非常に多く存在し、今後も似たような事例が発生する可能性が高い。</p> <p>そこで、本市としても今後がけ崩れなどの自然災害が起きる可能性があり、万一何かあっても行政の事業が適用されない可能性が高い環境でお住いの市民に、事前に告知するなど何か対策をとる考えはないか問う。</p> <p>(3) 7月18日、20日に、本市山田地区で県の認可で実施する太陽光発電システム（メガソーラー）の造成区域から溢れ出た雨水が原因で、土砂災害が発生した。このような事業については、通常県と市が話し合い調整しながら進めるものであるが、本市はこの事業についてこれまでどのように対応してきたのか、そして今後どのように対応していく考えか問う。</p> <p>市外に住む友人に本市のイメージを聞くことがあるが、ほとんど某大手商業施設の名前が答えとして返ってくる。しかし、本市はコンパクトシティでありながら、多くの史跡や自然環境、NHKの音楽番組の中継ができるレベルの文化ホール、とても見晴らしの良いバンガロー施設などもあり、本市のイメージが商業施設のイメージだけでは少し寂しい気持ちになる。本市に観光客を呼び込むためにも、NPOに既存施設の管理を委託するだけでなく、もう少しこれらの地域資産を活用すべきではないだろうか。</p>	<p>市長</p>
--	---------------------	---	-----------

例えば、山梨県の小菅^{こすげ}村では、宿泊部分、食堂部分、レジャー部分、観光部分というように村を機能別に分散し、村全体で一つの大きなホテルとして成り立っている。機能を分散することで、観光客が地域を散策する必要性が生まれ、地域のお店や風景、人に接触する機会が増え、より深くその町を知ることができる。これはイタリアで生まれた「アルベルゴ・ディフーズ」という村全体を一つのホテルとして考える新しい地域活性化プランである。

このプランは、一般的なランドマークを作る場合と比較して初期投資を抑えられるため、観光に大きな予算を組めない本市でも実現が可能なのではないかと考える。例えば、本市を「文化あふれる心と体の癒しのまち」というタウンコンセプトでデザインした場合、始良、加治木、蒲生のあらゆる地域資産を生かせるのではないだろうか。

以前は、各市区町村が競って、そのまちのシンボルタワーや施設づくりなどのいわゆるランドマークづくりに奔走した時期があったが、近年では「モノ」を持つことに価値を見出すモノ消費ではなく、体験することに価値を見出す「コト消費」を重視する消費者が増えていと言われ、観光も無関係ではいらなくなってきた。「アルベルゴ・ディフーズ」はまさに今後伸びる可能性の高い体験型の観光である。

本市で育ち暮らす者として、県内外の多くの人から「始良市はいいね」と言われたいと思っている。

そこで、以下について質問する。

		<p>(1) 本市を県内外にイメージ訴求する新しい観光プランはあるか。また、あるとしたら立案のコンセプトはどのようなもので、実施する場合の予算はどの程度か問う。</p> <p>(2) 観光プラン次第では、クラウドファンディングなどが使えると思うが、検討したことはあるか問う。</p> <p>(3) 観光プランの一般公募のコンペ方式は存在するか。また、あるとしたら、手法および実施に至る手順を示せ。</p>	
11. 桃木野 幸一	<p>1. 有害鳥獣被害防止対策について</p> <p>2. 遊休地の活用について</p>	<p>近年、中山間地域を中心にイノシシ・シカ・サルなどによる農作物などによる被害が多発し、地域住民の生活に多大な影響を及ぼしている。特に、サルの捕獲をする人が少ないと聞いており、さらなる対策が必要と考える。</p> <p>(1) 昨年の捕獲数及びその捕獲活動に対する支援額や被害額はどのようなものか。</p> <p>(2) 市内の現在の生息数はいくらか。また、今後の減らす対策はどのようなものか。</p> <p>(3) イノシシやシカ等の防護柵は3年ぐらい待つと聞いているが、これまでの実績と今後の計画はどのようなものか。</p> <p>(4) 捕獲した後のジビエの有効活用はどのように考えているか。</p> <p>市内には多くの遊休地があると聞いている。そこで、次の主な所について活用策を示せ。</p> <p>(1) 加治木高岡公園隣接地</p> <p>(2) 加治木西タイヨー東側市営住宅地</p> <p>(3) 加治木西岩原市営住宅跡地</p> <p>(4) 加治木竹下住宅・田中住宅跡地</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

	<p>3. サイクルツーリズムの取組について</p>	<p>(5) 加治木東岩原住宅隣 (6) 加治木龍門滝温泉近くの急傾斜地住宅地 (7) 加治木港地区交通安全協会跡地 (8) 西之妻公社所有地 (9) 重富中学校横住宅跡地</p> <p>ここ、数年、観光政策の一環としてサイクルツーリズムを取り入れる自治体が増えていると聞いている。特に、コロナ禍を機に「密にならない移動手段」として自転車の価値が改めて注目されるようになった。</p> <p>鹿児島県内には、現在甕島など7つのコースが設定されているが、今多くのサイクリストが新しいツーリングコースを求めていると聞いている。</p> <p>「乗って回ってみたい」と思えるようなコースを設定することが、その地域の活性化につながると考える。</p> <p>そこで、様々な課題はあると思うが、雄大な桜島・錦江湾・始良カルデラの絶壁の中を走る北の錦江湾一周コースとして桜島―垂水―霧島―始良―鹿児島の設定は考えられないか考えを示せ。</p>	<p>市長</p>
	<p>4. 観光案内看板の設置について</p>	<p>市内にどこから来てもここが始良市だと認識されるような看板がないと思う。正に、人口も増えこれから成熟したまちを目指す上からも主要な箇所に看板を設置してココが始良だと認識してもらい歓迎するような雰囲気醸し出す事が大事なことと思うが考えを示せ。</p> <p>例えば、くも合戦とか太鼓踊りなど始良をイメージさせるものを取り入れたものとするなど。</p>	<p>市長</p>

	<p>5. ホテル建設について</p>	<p>現在、市にはいくつかのビジネスホテルがあるが、市民の声として、インバウンドなど若者が安価に宿泊できるホテルと200から300人の会合ができる施設が必要との声がある。</p> <p>数年前に条例化してホテル建設に補助金を出す計画があったが結果を見なかった。</p> <p>現在の宿泊能力はどのような状況か示せ。また、コロナ禍ではあるが、条例化して補助金を設けホテル誘致に取り組むべきと思うが考えを示せ。</p>	<p>市長</p>
	<p>6. コロナ体制について</p>	<p>(1) 現在、コロナ禍の中で消防署員の救急搬送などは過酷なものと推察する。従事する消防職員の勤務体制はどのようになっているのか。また、十分な休憩とか取れているのか。体調管理などどのように配慮されているのか。また、民間の消防団員との連携はどのようになっているのか示せ。</p> <p>(2) 感染者などが保健所に電話しても繋がらず不安な生活を送っていると聞いている。市は保健センターがあるが何かコロナ対応をしているのかも含め市として相談に乗る体制づくりが急務と思うが考えを示せ。</p>	<p>市長</p>